



ROCK PAINT

061ライン 5500番級

水性サビカット®

水性二液型エポキシサビ止め塗料

高耐久性のオール水性化
水性二液型で従来の溶剤型タイプに
匹敵する防錆性を実現！
各種有害物を配合しない環境配慮型

ホルムアルデヒド放散等級

F ★ ★ ★ ★

居室内で無制限に使用できます。



ロックペイント 株式会社

061ライン
5500番級

水性サビカット®

水性サビカットは環境に配慮し、かつ金属面の防錆性を一段と發揮した、水性二液型のエポキシ系サビ止め塗料です。
水性塗料のため扱いやすく、
従来の溶剤型塗料と比較して、VOCは非常に少ないため、
安心してご使用いただけます。
また被塗物への浸透性や付着性もすぐれているため、
新設から塗り替えまで、建物等金属部のオール水性・高耐候性仕上げに威力を発揮します。



特長

1. 低VOC・低臭

水性のため塗料中のVOC(揮発性有機化合物)は溶剤型塗料と比較して非常に少なく、においも少ないので、周辺地域や居住者、作業者の環境に配慮した塗料です。

2. すぐれた防錆力

浸透性にすぐれ、2種ケレン金属面に対する付着性、防錆性は、従来の水性さび止めペイントをはるかに超える性能を発揮します。

3. 環境対応型

トルエン・キシリレンは使用していないため室内環境にやさしく、また鉛・クロム化合物も原料として使用していないため、土壤汚染の心配もありません。(F☆☆☆☆)

4. 塗装作業性良好

ハケ、ローラーやエアレス塗装の作業性にすぐれ、たれにくく、上塗り塗料の吸込みも少ないので、上塗り塗料本来の美しい仕上がりが得られます。

5. 各種素材に適応

鉄部のみならず、トタン、アルミ、ステンレス面に対してもすぐれた付着性を発揮します。

耐塩水噴霧試験：240時間

溶剤型の変性エポキシ樹脂プライマーと同等のサビ止め効果を発揮!



変性エポキシ樹脂
プライマー

水性サビカット

従来の水性プライマー

用途

- 屋内外の鉄鋼構造物の新設および塗り替え用下塗りとして。
- 亜鉛メッキ面、トタン面、アルミ板、ステンレス板の新設および塗り替え用下塗りとして。
(※自付量の多い亜鉛処理鋼板や、白サビ、黒サビが多いアルミ板、亜鉛処理鋼板などは十分な付着性が発揮されない場合があります。)

乾燥時間・可使時間

	10°C	23°C	30°C
指触乾燥	1時間	30分	15分
塗り重ね可能時間	16時間以上7日以内	8時間以上7日以内	4時間以上7日以内
可使時間	約12時間	約7時間	約4時間

※気温および被塗物温度が5°C以下の場合は、塗装しないでください。また夏場(高温下)では硬化反応が著しく速まるため、上塗り塗装はあまり日数を置かず速やかに実施してください。塗り重ね時間が過ぎると、層間で密着性が低下します。塗装間隔があく場合は、ペーパー掛けなどで処理してください。
気温や湿度、天候状態、膜厚、素地の状態、形状、被塗物温度などにより多少異なります。

種類と容量

品番	色名(日塗工標準色*)	容量	消防法分類	色*
061-5530	赤サビ色〔主剤〕(07-30L近似)	14kg	非危険物	
061-5531	グレー〔主剤〕(N-75近似)	14kg	非危険物	
061-5910	水性サビカット 硬化剤	2kg	非危険物	—

*色は印刷のため、実際の色と多少異なります。

◇旧塗膜に対する塗装適性

種類	弊社該当製品名	適性
合成樹脂調合ペイント	ロックコート	○
フタル酸樹脂エナメル	タフコート	○
トタン屋根用塗料	ロックトタンペイント	○
アクリル樹脂エナメル	—	○
弱溶剤一液型塗料	ダイナロックIII	○
アクリル樹脂系非分散形塗料	エバーロック	○注1)
建築用ポリウレタン樹脂塗料	ロックウレタントップ	○
弱溶剤二液型塗料	サンフロンUV、ハイパーユメロック、ユメロック、ユメロックルーフなど	○注2)
各種水性エマルション塗料	サンフロンアクリア、ハイパークリロックセラ、ビニロックウレタン、ユニロックハイグロス、ビニロックなど	○注2)

*上記の旧塗膜は、塗装後数年の経年劣化した塗膜を前提にしています。塗り直しなど塗装後あまり経っていない塗膜の場合は、試し塗りをしてから使用してください。

注1) 旧塗膜が塗料用シンナーに膨潤、溶解する場合は、弱溶剤型塗料を上塗り塗装するとちぢみを起こす場合がありますので、注意が必要です。

注2) フッ素系やシリコン系の塗料については、付着性が十分得られない場合がありますので、サンドベーバーなどで表面あらしを行ってください。

水性二液型 エポキシサビ止め塗料

◇各種素材との付着性

素材注3)	種類	適性
鉄鋼板	ダル鋼板、みがき軟鋼板、黒皮鋼板など	○
亜鉛メッキ鋼板注4)、注5)	トタン板(JIS G 3302)、ボンデ鋼板など	○
アルミニウム板注5)	JIS H 4000 A1100P,A1050Pなど	○
ステンレス鋼板	SUS304,SUS316など	○

注3)素地や下地を調整したときに発生したサビ、鉄くずなどは、サビの発生の原因になるため、削りカスも含めて完全に除去してください。

注4)溶融亜鉛メッキ鋼板などの亜鉛目付量の多い素材は、付着性が十分得られない場合があります。

注5)亜鉛メッキ鋼板やアルミニウム板に白サビや黒サビが多いと付着性が十分得られない場合がありますので、サンドペーパーなどでサビを除去、表面あらしなどの処理を実施してください。

◇上塗り塗料との塗装適性

種類	弊社該当製品名	適性
水性一液型フッ素樹脂塗料	サンフロンアクリル	○注6)
水性一液型シリコン樹脂系塗料	ハイパービルロックセラ、シリコマックス屋根・瓦用	○
水性一液架橋型ウレタン樹脂塗料	ビニロックウレタン	○
つや有合成樹脂エマルションペイント	ユニロックハイグロス、ユニロックV.O-II	○
合成樹脂エマルションペイント	ビニロック	○注7)
合成樹脂調合ペイント	ロックコート	○注8)
弱溶剤一液架橋型NAD樹脂塗料	ダイナロックIII、1液ユメロック、1液ユメロックルーフ	×
アクリル樹脂系非分散形塗料	エバーロック	○注8)
トタン屋根用塗料(合成樹脂系)	ロックトタンペイント	○注8)
各種弱溶剤二液型塗料	サンフロンUV、ハイパーウメロック、ユメロック、ユメロックルーフ	○注8)
各種強溶剤型塗料 (ウレタン系、フッ素系、塩ビ系)	ロックウレタントップなど	×

※水性サビカットの乾燥時間が不十分な場合は、アミンブリード(黄変)を起こすことがありますので、必ず所定の時間乾燥させてから上塗りを塗装してください。

※塗装仕様がF☆☆☆☆仕様の場合、上塗り塗料もF☆☆☆☆を使用してください。(ハイパービルロックセラ、ビニロックウレタン、サンフロンアクリル、ユニロックハイグロス、ユニロックV.O-II、ビニロック、エバーロック、ハイパーウメロック、ユメロック、サンフロンUV)

※高日射反射率(遮熱)塗料で仕上げる場合、下塗り塗装は専用プライマーをご使用ください。

注6)サンフロンアクリルで仕上げる場合、上塗りを塗装する前にサンフロンアクリル専用中塗りを塗装する必要があります。

注7)水性つや消しタイプのエマルションペイントを上塗り塗装する場合は、水性サビカットの乾燥が不十分ですとクラックが発生することがありますので、十分乾燥させてから塗装してください。(23°Cで16時間以上)

注8)弱溶剤型上塗り塗料を塗装する場合は、一晩以上(23°Cで16時間以上)乾燥させてから塗装してください。(水性サビカットの代わりに、塗り重ね可能時間がより短い弱溶剤型変性エポキシサビ止めのサビカットIIまたは2液型サビカット等をお奨めします。)

標準塗装仕様(金属部オール水性高耐候性仕上げ)

◇屋外鉄部、非鉄金属部の新設[水性フッ素または水性シリコン仕上げ]

工程	使用塗料	希釈剤	希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m ² ・回)	標準膜厚(μm・回)	塗り重ね可能時間(23°C)
素地調整	足場および飛散防止シート(必要に応じて防音シート)を仮設し、電動工具を主体として手工具を併用し、サビを完全に除去してください。日本道路協会地調整程度「2種ケレン」、またはSIS St3。 じんあい、水分、油脂分は完全に取り除き、塗装しない個所のマスキングをしてください。						
下塗り	061ライン 水性サビカット(赤サビ色またはグレー) 配合比 主剤：硬化剤=7:1	水	ハケ、ローラー： エアレス： 0~5 5~10	1	0.12~0.15	40	8時間以上 7日以内
A	中塗り 081ライン サンフロンアクリル 中塗り	水	ハケ、ローラー： エアレス： 5~10 10~20	1	0.12~0.18	30	2時間以上
	上塗り 081ライン サンフロンアクリル 指定色	水	ハケ、ローラー： エアレス： 2~10 5~20	1	0.15~0.18	30	—
B	上塗り 111ライン ハイパービルロックセラ 指定色	水	ハケ、ローラー： エアレス： 5~15 10~20	2	0.12~0.18	30	2時間以上

注)期待耐用年数はA>Bの順になります。Aのサンフロンアクリルの場合、必ず中塗りを塗装してください。

◆トタン屋根、棟などの金属部の塗り替え[屋根・瓦用水性アクリルシリコン仕上げ]

工程	使用塗料	希釈剤	希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量(kg/m ² ・回)	標準膜厚(μm・回)	塗り重ね可能時間(23°C)
素地調整	はがれかかった旧塗膜はできるだけ皮スキ、ワイヤーブラシなどの手工具で取り除いてください。 旧塗膜が劣化した部分、白亜化した部分、サビが発生している部分は、十分にケレンして水洗いしてください。 旧塗膜に付いている油分など、塗装に支障をきたすものは完全に取り除いてください。						
下塗り	061ライン 水性サビカット(赤サビ色またはグレー) 配合比 主剤：硬化剤=7:1	水	ハケ、ローラー： エアレス： 0~5 5~10	1	0.12~0.15	40	8時間以上 7日以内
上塗り	070ライン シリコマックス屋根・瓦用 常備色	水	ハケ、ローラー： エアレス： 0~5 0~10	2	0.15~0.18	30	2時間以上

※標準塗装仕様の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なることがあります。

※ハケは固まりやすい動物ハケはさけ、できるだけナイロンハケをご使用ください。

◆施工上の要点・注意事項

- 塗料は使用前に容器の底から十分に攪拌し、全体を均一にしてください。
- 主剤と硬化剤は粘度に差がありますので、混合時は均一になるように十分攪拌してください。攪拌が不十分だと、塗膜が硬化不良または、塗膜性能が十分発揮されない恐れがあります。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく、十分な性能が発揮できませんので、気温及び軀体温度が5°C以下の場合や、湿度85%以上での塗装は避けてください。(風通しが悪い場合や湿度が高い場合は、気温が高くても乾燥時間が通常よりかかる場合があります。)
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 塗る面のゴミ、ほこり、砂、油などの汚れ、はがれかかった塗膜はよく取り除き、さびはワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで十分に除去してください。塗装前に水洗い、必要ならば溶剤ぶきなどを行い、乾燥した清浄な面にしてください。
- 素材表面が雨、露などでぬれている場合は、ふくれ、割れ、はがれなどの原因になるため、十分に乾燥するまで塗装はさけてください。
- サビについては完全に除去後、削りカス(サビ、鉄くず)を完全に除去してください。サビの発生の原因になります。サビの除去が十分に行えない塗装箇所には、変性エポキシ樹脂プライマーをご使用ください。
- 新設塗装の場合、水性サビカットは塗り残しがないように塗装してください。塗り残しのまま水性の上塗り塗料を塗装すると、その部分が点サビ状に発生しますので、注意してください。
- 被塗面が直射日光などで極端に熱くなっているときは塗装をさけ、少し冷えてから塗装してください。
- エアレス塗装する場合は、塗装ミストによる汚染防止のため、十分な養生を行ってください。
- 事前にためし塗りし、水による希釈割合等、塗装条件を確認してください。少し粘度が高いくらいが適当です。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。
- トタンの折り曲げ部分、継ぎ目部分などは、膜厚が十分に得られない場合がありますので、先に拾い塗りをする事をお奨めします。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 水性サビカットの硬化剤はアミンブリード性の少ない主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、施工時および硬化するまでの間、低温(5°C以下)になる箇所での使用はできません。
- 改修塗装の場合、下地の種類によっては塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い、ためし塗りをすることをお奨めします。
- 2液型塗料ですので、使用後の塗装器具はただちに洗浄してください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤(061-5910)を使用し、主剤と硬化剤の配合比は守ってください。仕上がり外観、塗膜性能に影響を及ぼします。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は、十分な性能が得られない場合があります。
- 塗り重ね可能時間は8時間以上7日以内(23°C)ですが、屋根部など通常温度が高くなると工程間隔が短くなり、上塗り塗料との付着性が低下して層間剥離を起こすことがありますので注意してください。このような場合、8時間乾燥させた後、あまり日数を置かず速やかに次の工程を行ってください。もし長期間経過した場合はサンドペーパーまたはパワーブラシで表面を研磨した後、脱脂等清浄な面とした上で上塗り塗装してください。
- トタン板等で亜鉛メッキの目付量が多い場合には、付着性能が十分得られないことがありますのでご注意してください。
- 常時水のかかる所への適用は避けてください。
- 上塗り塗料には強溶剤塗料を使用しないでください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプの塗料です。塗装工程上F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材を含む)を使用したり、塗装間隔、塗付量、希釈量を守らなかった場合は、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。

◆安全衛生上及び取扱上の注意

【製品の危険・有害性】

危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。

【救急処置】

- 目にに入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮ふに付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

【取扱注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。

- 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業衣等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5°C以上40°C以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

【施工後の安全性について】

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

安全データシート(SDS)をよく読んでから取り扱ってください。



ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000

札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304

仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 渡正ビル201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255

西関東営業所 〒229-1131 神奈川県相模原市西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000

名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433

岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966

福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町線ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL http://www.rockpaint.co.jp

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。